

陳情第19号

流山市における交通ルールの尊重による事故防止への構築についての  
陳情書

(内容)

- 1 特に自転車利用者への天候(雨天、積雪)時の雨ガッパ利用の徹底。
- 2 なんとその大部分が(大半)が大人特に高齢者に散見される傾向が増加している。
- 3 私も何度も「ヒヤリ」としたので道路関係者(道路管理課)相談いたしました。
- 4 流山市警察だけでは限界が生じており流山市の大切な「人の命」は市民全体で協力し、1人でも悲しい事故者が減る様市職員(井崎義治市長中心に)及び市民選出の28名の流山市議会議員の協力が必要不可欠だと信じております。
- 5 我が国日本は四季を通して大雨や台風が多発しています。今こそ真剣に「命の重さ」を、流山の議員さまは全員が「高潔で人格が優れている人物」とお聞きしております。今こそ流山市民の命の「砦」として向き合って頂きたい。

(項目)

- 1 雨の日の傘使用事故を調査しその対策について、必要な規則を定める様検討して下さい
- 2 流山市、交通ルール遵守運動に議員も参加、協力し、雨の日の傘利用による事故の根絶を図る政策を立ち上げて下さい。

(例として)

- 1 メッセージとして、「貴方を交通事故から守るために」「末長く生きるために」という言葉をつくって、事故の根絶の為のキャンペーンを流山市議会議員市職員(担当部局)が一緒になって、実施して下さい

令和4年5月23日

陳情者



流山市議会議長 森 亮二 様